

平成26年度 新発田市・北蒲原郡算数部 活動報告

部長 鈴木 利奈

1 研究主題

子どもが主体的に取り組む算数授業

2 研究の概要

- 4月10日(木) 第1回研修 研修テーマ・活動計画立案
- 6月6日(金) 第2回研修 グループでの話し合い
「算数の授業で大切にしていること」についての話し合い
- 10月31日(金) 第3回研修 授業研究
単元名 「平均とその利用」(5年)
授業者 新発田市立外ヶ輪小学校 片野 一輝 教諭
指導者 新潟大学教育学部 准教授 阿部 好貴 様

3 研究の実際

(1) 第2回研修 グループでの話し合い

グループに分かれて、日々の算数授業において大切にしていることについて話し合った。「本時のねらいやめあてを明確にする」「終末にまとめや振り返りをきちんと行う」などは、どの学校でも意識して取り組んでおり、ゆえに日々の悩みなど共通する部分も多かった。気を付けていることや取り入れたい工夫などをみんなで共有し、改めて算数の授業の在り方について振り返ることができた。

(2) 第3回研修 授業研究

単元の構成を工夫し、平均と単位量の2つの概念を組み合わせながら解決していく課題であり、提案性のある授業であった。実際の修学旅行時の船中の混みぐあいの様子から問題場面が設定されており、子どもたちは友達とかかわりながら絵や図に表しながら、解決しようとしている姿が見られた。

《指導者より》

- ・ 問題解決することを通して、子どもが主体的に知識を構成できるように、子どもの活動を中心に捉えた学習指導を展開する必要がある。
- ・ 問題提示・把握の段階では、問題に含まれる算数としての問題性を意識させることが必要である。(教材の算数的な問題は何であるか?どのような認識の上昇をさせたいのか?)
- ・ 自力解決の段階では、既知をベースに解決するための見通しを共有させる必要がある。
- ・ 練り上げの段階では、子どもたちに解決認識を共有させる。教師は、認識が上昇するように支援をする。
- ・ 算数をすることは表現することである。数学的な考え方と表現は表裏一体。

4 成果と課題

授業研究では、協議会において指導者の先生より公開授業をもとに、問題提示—自力解決—練り上げというプロセスごとに大切にしなければならないことを具体的に教えていただいた。また、課題提示や全体検討での手立てなどについて、意見を出し合って交流することで、学んだことがたくさんあり、日々の算数授業について振り返ることができた。ここで学んだことを日々の授業実践に生かしていきたい。